

2021年東北地方協新年の挨拶

全医労東北地方協議会 議長 佐藤一哉

新年あけましておめでとうございます。
今年も医療と労働条件改善、働きやすい職場環境目指し共に頑張りましょう！

全医労は、職員の雇用確保、賃金・労働条件を勝ち取るたたかいと共に、国民医療・国立医療を守るたたかいを基本に取り組んできました。国立医療は国民の共有財産であり、患者、国民・地域住民を守ることであり、職員を守ることだからです。

新型コロナウイルス感染症は、医療機関が人員不足・労働強化となっている中、院内感染予防対策の強化徹底が図られ、医療従事者の我慢と忍耐によって「医療崩壊」を食い止めている状況です。最前線に対応しているスタッフは勿論、医療従事者への誹謗中傷により悲痛な思いをすることもあったと思います。

クラスター施設への看護師派遣においては、詳細が不確定のまま実行されています。設備が整ってるのか？休暇は取れるのか？前後のPCR検査とその後の出勤停止など情報共有がされているとは言えません。

2020年度の運動方針は「国民のいのちと健康を守る最後の砦」である国立病院の役割のために「大運動」に取り組むこと。2000名組織を目指し、あらゆる取り組みを組織拡大の位置づけ、計画的・意識的に「見える化」をすすめること。労働組合の最大の役割である団体交渉で職場環境改善に取り組むこと。ハラスメントをなくし、働きやすい職場環境が求められています。

東日本大震災から10年の節目を迎える今年、ふたたび「東北魂」を発揮する時です。コロナ禍で活動制限の中、厳しい状況ではありますが、必ずコロナは終息すると信じています。何よりも、共にたたかっている仲間がいます。一人で悩まず、1支部で悩まず「東北の仲間と共に！」この困難な時期を乗り越えていきましょう！